

羽田空港対策特別委員会 案件一覧

(令和7年6月26日開催分)

○所管事務報告 9件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
まちづくり推進部	1	羽田空港跡地第1ゾーン道路全線開通について	1	池寄 まちづくり推進部副参事（空港跡地調整担当）
	2	羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園説明会実施結果報告について	2	池寄 まちづくり推進部副参事（空港跡地調整担当）
	3	羽田空港の機能強化について	3	中山 空港まちづくり課長
	4	羽田空港見学会の開催について	4	中山 空港まちづくり課長
	5	令和7年4月・5月の東京国際空港におけるゴーアラウンドについて	5	中山 空港まちづくり課長
	6	南風運用（15時～19時）に関わる騒音測定状況等について（令和7年3月）	6	中山 空港まちづくり課長
資源環境部	7	令和7年1月 大田区航空機騒音固定調査月報（確定）	7	武藤 みどり・環境保全担当課長
	8	航空機内陸飛行騒音調査について	8	武藤 みどり・環境保全担当課長
経済産業部	9	羽田イノベーションシティにおける取組報告について	9	中谷 イノベーション事業担当課長

羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園説明会実施結果報告について

本公園の整備・維持管理・運営を担う事業者が、令和7年2月5日「羽田みらいパークマネジメント（代表企業：株式会社かたばみ）」に決定したことを踏まえ、これまでの経緯、公園のこれからに関してさらなる周知を図り、区民の理解を深めるため、次のとおり説明会を開催した。

1 開催日時・会場

令和7年5月17日（土）15時～17時10分
大田区立羽田小学校体育館（大田区羽田3-3-14）

2 来場者数

70名

3 主な意見

（1）防災

- ・災害時に避難場所として対応できる機能を備えてほしい。

（2）公園の魅力向上

- ・未就学児に配慮し、遊具選定やエリア分けも検討してほしい。
- ・歴史・文化の発信や国内外から多くの人が集まる公園になることを期待する。
- ・公園内でボール遊びができるようにしてほしい。

（3）その他

- ・自転車置き場はイベント時でも不足しないように整備してほしい。
- ・駐車場は空車待ちによる渋滞が生じないように適切に整備してもらいたい。



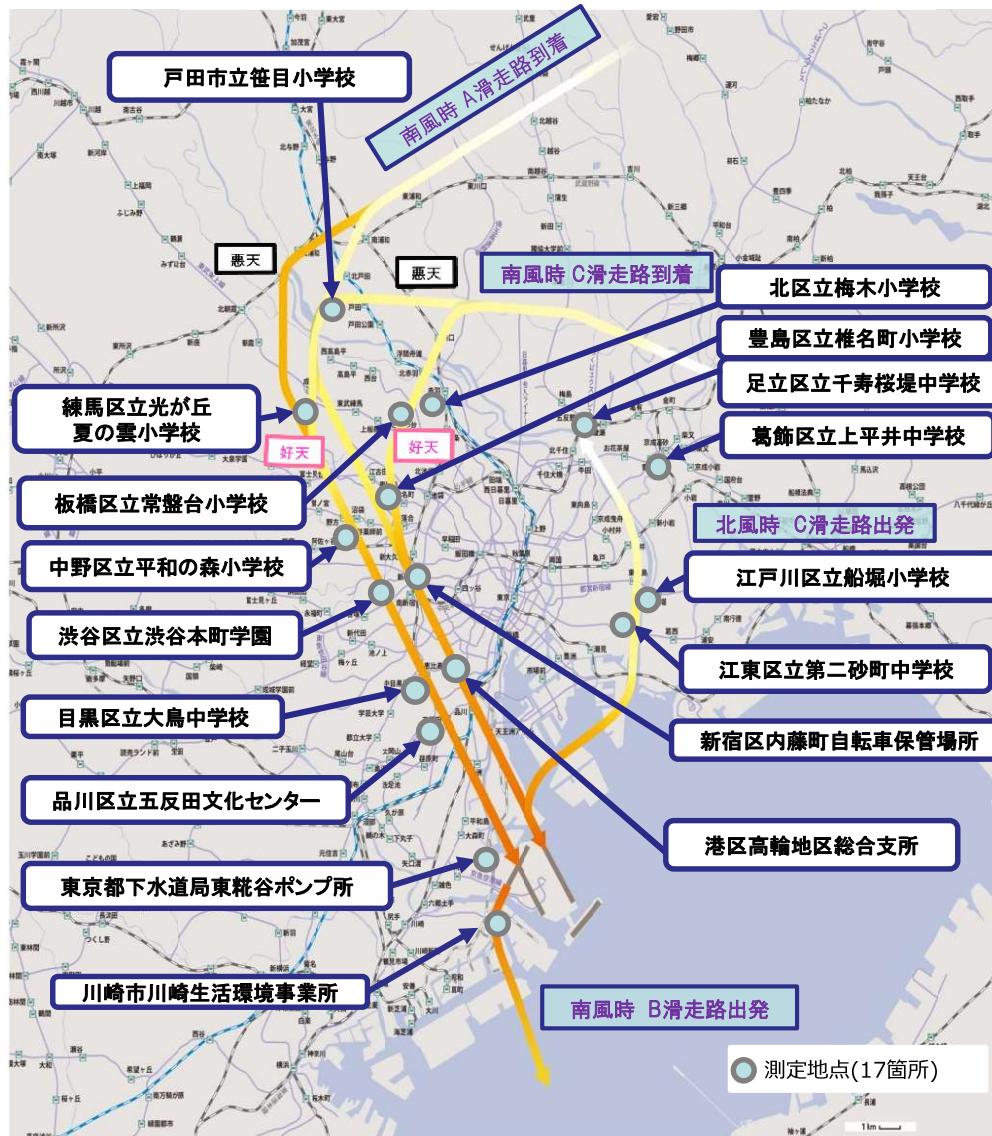
4 今後の取組み

今後、いただいた意見の実現可能性等について検討する。併せて、公園のより効果的な利用に向けて、区民や関係団体等との意見交換の場を設け進める予定である。

羽田空港対策特別委員会
令和7年6月26日
まちづくり推進部 資料3番
所管 空港まちづくり課

航空機騒音の短期測定結果(2024年11月実施)

航空機騒音の短期測定(2024年11月実施)について



- 航空機騒音の発生状況のきめ細かな把握のため、固定騒音測定局での測定に加えて、左図の地点（東京都 15 箇所、神奈川県 1 箇所、埼玉県 1 箇所）において 11 月 19 日から 25 日まで 1 週間にわたって航空機騒音の測定を実施。

【測定期間中の運用状況】

- ・北風新飛行経路
全日実施
C離陸 1005機
- ・南風新飛行経路
対象機なし

- 各測定地点における測定結果は次ページのとおり。今回の短期測定期間において、南風時新飛行経路の運用が行われなかったため、新飛行経路を飛行した航空機の騒音は船堀小学校、第二砂町中学校、上平井中学校、千寿桜堤中学校のみでの観測となった。機体サイズ別の実測値の平均と、住民説明会等でお示した推計平均値を比較したところ、全地点において推計平均値と同等又はそれ以下という結果となった

測定地点ごとの実測値の平均と推計平均値の比較

実測値の平均と推計平均値を比較すると、**同等:12地点(100%)、推計平均値以上:0地点(0%)、推計平均値以下:0地点(0%)**

※実測値:各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値

※「実測値の平均」の小数点を切り上げて、「推計平均値」と比較

推計平均値以上

推計平均値以下

単位: dB

測定地点	大型機		中型機		小型機	
	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1	実測値の平均	説明会等でお示していた推計平均値※1
船堀小学校(江戸川区)【C離陸】	68.4	74～68	64.7	73～61	65.8	71～65
第二砂町中学校(江東区)【C離陸】	68.5	77～68	65.6	76～61	66.1	74～65
上平井中学校(葛飾区)【C離陸】	64.9	—	61.8	—	62.7	—
千寿桜堤中学校(足立区)【C離陸】	66.3	—	64.7	—	65.4	—
川崎生活環境事業所(川崎市)【B離陸】	—	91～86	—	—	—	86～81
東京都下水道局東糞谷ポンプ所(大田区)【B離陸】	—	—	—	—	—	—
笹目小学校(戸田市)【A着陸】	—	68～65	—	64～58	—	65～56
梅木小学校(北区)【C着陸】	—	68～66	—	64～60	—	65～58
常盤台小学校(板橋区)【C着陸】	—	68～66	—	64～60	—	65～58
光が丘夏の雲小学校(練馬区)【A着陸】	—	66	—	63～60	—	64～58
椎名町小学校(豊島区)【C着陸】	—	69～67	—	65～61	—	66～59
内藤町自転車保管場所(新宿区)【C着陸】	—	72～68	—	68～63	—	69～61
平和の森小学校(中野区)【A着陸】	—	70～67	—	66～61	—	67～59
渋谷本町学園(渋谷区)【A着陸】	—	72～68	—	68～63	—	69～61
大鳥中学校(目黒区)【A着陸】	—	71～68	—	—	—	65～60
港区高輪総合支所(港区)【C着陸】	—	76～73	—	74～69	—	73～68
五反田文化センター(品川区)【A着陸】	—	73～68	—	—	—	66～61
計 17測定地点	同等	4地点(100%)		4地点(100%)		4地点(100%)
	推計平均値以上	0地点(—)		0地点(—)		0地点(—)
	推計平均値以下	0地点(—)		0地点(—)		0地点(—)

※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、各測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値

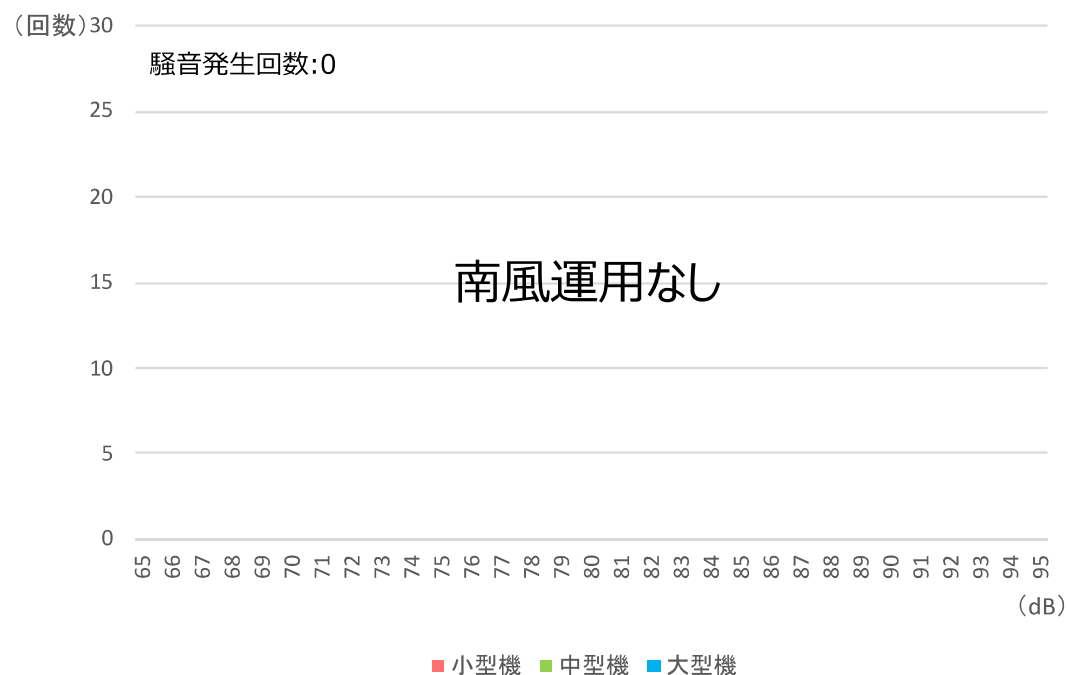
【短期測定結果(2024年11月)】東京都下水道局東糀谷ポンプ所

○飛行経路と測定地点の位置関係等

- ・B滑走路西向き離陸機の音を測定。
- ・A滑走路着陸経路からは側方1.5km程度に位置しており、高度が低くなるにつれ、側方での音は小さくなるため、着陸機の音は測定されていない。

○実測値の分布

実測値（各航空機が通過したときに発生した騒音の最大値）
ごとにその発生回数をお示しすると、以下のとおり。



単位: dB

	実測値の平均
大型機	—
中型機	—
小型機	—
全体	—
※1 住民説明会等でお示した推計平均値のうち、本測定局における想定高度や想定経路からの側方距離に対応する値	

	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	平均
Lden ※2	-	-	-	-	-	-	-	-

※2 航空機騒音を音の大きさ、継続時間、発生した時間帯の3要素で評価する指標

※3 実測値及びLdenの算出に当たっては、新飛行経路を飛行した航空機の騒音以外の音は除いている。

羽田空港見学会 参加者募集

国土交通省では、羽田空港周辺の地域にお住まいの皆様に
羽田空港を知っていただけますように、見学会を開催します。

国土交通省



開催日・見学場所

・全14回 12時00分から17時頃まで実施予定

2025年 8月20日(水)、22日(金)、29日(金)、31日(日)
9月 5日(金)、12日(金)、13日(土)、15日(月・祝)、20日(土)、22日(月)
10月 4日(土)、7日(火)、11日(土)、25日(土)

・見学場所 管制塔(展望室)・滑走路周辺・格納庫など

※見学会当日の天候や空港運用の状況などにより、参加者の安全確保ができないと判断された場合は中止
もしくは見学内容を変更することがあります。



上のQRコード
からもアクセス
できます。

応募条件

・東京都・埼玉県・神奈川県内で以下の区市町にお住まいの小学生以上の方(小学生は保護者の同伴が必要)

東京都 港区・新宿区・江東区・品川区・目黒区・大田区・渋谷区・中野区・豊島区・北区・板橋区・練馬区・江戸川区
埼玉県 さいたま市・川口市・草加市・越谷市・蕨市・戸田市・朝霞市・志木市・和光市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町
神奈川県 川崎市 (※参加を希望される方全員が条件を満たす必要があります。)

・募集定員 各回あたり定員40名 ※全応募者の中から希望日ごとに抽選し、当選者を決定します

応募要項(参加費無料) ※裏面記載例もご確認下さい。

■応募方法 参加者全員分の①～⑦をご記入のうえ、ハガキまたは封書での郵送にてご応募下さい。(往復ハガキは不要です)

①氏名・フリガナ ②生年月日 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥e-mailアドレス ⑦参加希望日(1日のみ)

※1組4名までご応募頂けます。同居家族で応募される場合は③～⑥は代表者のみで可能です。

※希望日が複数ある場合は、希望日ごとに1通ご応募下さい。(当選は希望日の中から1日のみとなります。)

※記載事項に不備がある場合や、同じ日に複数回の応募がある場合は応募が無効となります。

■応募先 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1

国土交通省東京空港事務所 環境・地域振興課 空港見学会担当者 あて (郵送のみ受付)

■応募締切 2025年7月11日(金)消印有効

■発表 当選者への連絡をもって発表とさせていただきます。落選通知は行いませんのでご了承下さい。

当選案内は、応募締切後に以下の日程でe-mail・郵送によりお知らせします。

その際に参加に必要な手続き(身分証明書など必要書類の提出)・集合場所の詳細等をお知らせします。

前半分の発表(2025年8月20日～ 9月13日開催分) : 2025年7月25日(金)までに通知

後半分の発表(2025年9月15日～10月25日開催分) : 2025年8月 8日(月)までに通知

■集合場所 国土交通省東京航空局 東京空港事務所(東京都大田区羽田空港3-3-1)

■注意事項 ※集合場所までの交通費は、参加者のご負担となります。

※当選された方以外が代理で参加することはできませんのでご了承下さい。

※お体が不自由な方など、お手伝いやサポートが必要な方は応募時にその旨をご記入ください。

※見学場所には、写真・動画の撮影ができないエリアもございますので、予めご了承下さい。

※ご提出頂きました個人情報は見学会開催に関する目的の範囲内にのみ利用します。

■問合せ先 国土交通省東京航空局東京空港事務所 環境・地域振興課 空港見学会担当

TEL:03-5757-3021 受付時間:10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

※抽選結果に関するお問い合わせは受けかねますのでご了承下さい。

○お申し込み記載事項

※記載に不備などがある場合、応募は無効となりますのでご注意ください。

① 氏名・フリガナ ② 生年月日

例) ・羽田 太郎(ハネダ タロウ) 昭和〇年〇月〇日

・羽田 花子(ハネダ ハナコ) 昭和〇年〇月〇日

(※1組4名様までご応募いただけます。)

計 2 名

(※生年月日は和暦西暦どちらの記載でも問題ございません。)

③ 郵便番号 ④ 住所

例) 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1

(※集合住宅にお住まいの方は、建物名と部屋番号もご記入下さい。)

⑤ 電話番号 ⑥ e-mailアドレス

例) (携帯)〇〇〇-△△△△-××××

(※日中に連絡の取れる番号をご記入下さい。)

(e-mail)〇〇〇〇@△△△△.×××

(※連絡先に間違いがある場合、当選のご連絡ができませんのでご注意ください。)

⑦ 参加希望日

例) 2025年〇月〇〇日(△)

(※希望日は1日だけご記載下さい。)

(※複数日に応募されたい場合は、希望日ごとに1通ご応募ください。)

(※当選は希望日の中から1日のみとなります。)

⑧ その他(必要な方のみ)

見学コースには階段や段差があります。

お手伝いやサポートが必要な方は、その内容をご記入下さい。

■応募先 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1
国土交通省東京空港事務所 環境・地域振興課 空港見学会担当あて (郵送のみ受付)

■応募締切 2025年7月11日(金)消印有効

■問合せ先 国土交通省東京航空局 東京空港事務所 環境・地域振興課 空港見学会担当
TEL:03-5757-3021 受付時間:10:00~17:00(土・日・祝日を除く)



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年4月・5月の東京国際空港におけるゴーアラウンドについて

(令和7年1～5月累計)

理由別	A滑走路北向き着陸		B滑走路西向き着陸		合 計	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
気象	25	39.1%	21	29.2%	46	33.8%
地震	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
バードストライク	12	18.8%	5	6.9%	17	12.5%
パイロット	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
間隔不十分	2	3.1%	6	8.3%	8	5.9%
滑走路離脱遅れ	17	26.6%	9	12.5%	26	19.1%
機材	1	1.6%	16	22.2%	17	12.5%
その他	7	10.9%	15	20.8%	22	16.2%
合 計	64	100%	72	100%	136	100%

羽田空港対策特別委員会
令和7年6月26日
まちづくり推進部 資料5番
所管 空港まちづくり課

月別	A滑走路北向き着陸		B滑走路西向き着陸	
	回数	区内上空通過数	回数	区内上空通過数
1月	10	3	14	9
2月	7	3	10	5
3月	18	8	11	8
※4月	10	4	21	12
※5月	19	8	16	7
合 計	64	26	72	41

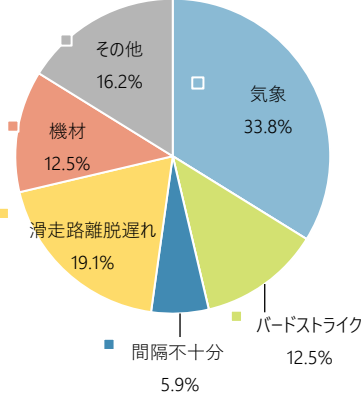
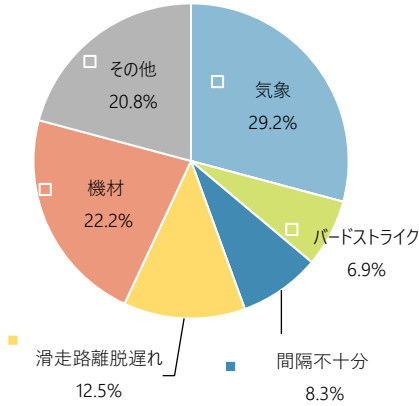
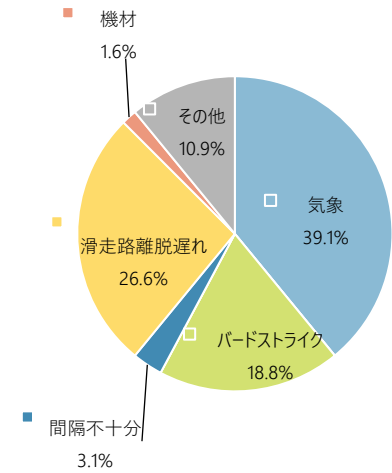
※当月委員会報告分

理由別割合（令和7年累計）

● A滑走路北向き着陸

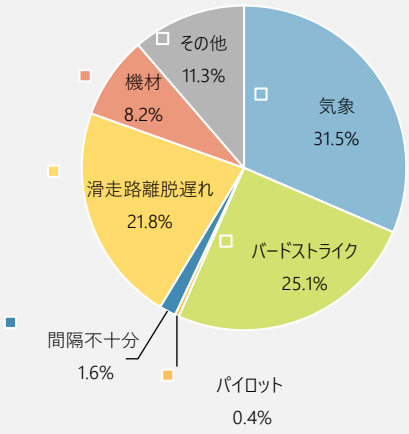
● B滑走路西向き着陸

● A・B滑走路合計



【参考】令和6年

486回（A滑走路北向き着陸：202回 B滑走路西向き着陸：284回）



令和7年4月の東京国際空港におけるゴーア라운드（A滑走路北向き着陸、B滑走路西向き着陸）について

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
1	R7.4.1	火	15:48	34L	JAL630	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
2	R7.4.1	火	16:00	34L	ANA256	B78X	機材トラブルのため	●	
3	R7.4.1	火	17:39	34L	JAL934	B763	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
4	R7.4.1	火	20:12	34L	QFA59	A333	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
5	R7.4.2	水	18:05	34L	SFJ86	A320	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
6	R7.4.2	水	21:56	34L	UAL849	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
7	R7.4.6	日	19:22	22	SKY020	B738	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	
8	R7.4.9	水	19:17	22	ANA648	B763	ウインドシアー	●	
9	R7.4.9	水	21:30	22	UAL849	B738	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	
10	R7.4.13	日	9:05	34L	JAL276	B763	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	—	
11	R7.4.13	日	21:51	22	JAL464	B763	ウインドシアー	●	
12	R7.4.14	月	14:09	22	ANA26	B763	ウインドシアー	—	
13	R7.4.15	火	9:42	22	SFJ74	A20N	異物報告による滑走路閉鎖のため	●	
14	R7.4.15	火	9:44	22	SKY510	B738	異物報告による滑走路閉鎖のため	—	
15	R7.4.15	火	9:46	22	ANA96	B772	異物報告による滑走路閉鎖のため	—	
16	R7.4.15	火	9:48	22	ANA620	B763	異物報告による滑走路閉鎖のため	—	
17	R7.4.15	火	9:50	22	JAL90	B789	異物報告による滑走路閉鎖のため	—	
18	R7.4.15	火	9:52	22	JAL900	B763	異物報告による滑走路閉鎖のため	—	
19	R7.4.16	水	6:14	34L	SIA636	B77W	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	—	
20	R7.4.16	水	6:16	34L	ANA206	B789	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	—	
21	R7.4.19	土	18:42	22	ANA1896	A20N	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	
22	R7.4.20	日	15:12	22	SIA632	A359	ウインドシアー	—	
23	R7.4.21	月	22:22	22	ANA416	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
24	R7.4.24	木	9:02	34L	SNJ52	B738	客室の着陸準備が整わなかったため	—	
25	R7.4.25	金	11:44	22	CSH815	B789	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
26	R7.4.25	金	11:46	22	JAL308	B788	バードストライクによる滑走路閉鎖のため	●	
27	R7.4.26	土	16:36	22	ANA298	A20N	滑走路視認できなかったため	—	
28	R7.4.26	土	16:38	22	JAL658	B738	滑走路視認できなかったため	—	
29	R7.4.28	月	18:33	22	JAL614	B738	他の航空機との間隔設定のため	●	
30	R7.4.29	火	14:13	22	SKY108	B738	ウインドシアー	●	
31	R7.4.30	水	11:00	22	EVA192	B78X	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	

令和7年5月の東京国際空港におけるゴーア라운드（A滑走路北向き着陸、B滑走路西向き着陸）について

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
1	R7.5.1	木	22:29	22	XAX522	A333	他の航空機との間隔設定のため	●	
2	R7.5.2	金	17:41	34L	JAL612	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	●	
3	R7.5.2	金	17:46	34L	JAL632	B763	ウインドシア-	●	
4	R7.5.2	金	18:03	34L	ANA950	B763	ウインドシア-	●	
5	R7.5.2	金	18:11	34L	SKY112	B738	ウインドシア-	-	
6	R7.5.2	金	18:14	34L	ANA568	A21N	風の影響のため	●	
7	R7.5.2	金	20:20	34L	JAL522	A359	ウインドシア-	-	
8	R7.5.2	金	21:07	34L	ANA400	A21N	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
9	R7.5.6	火	10:37	34L	AAR1085	A333	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	-	
10	R7.5.7	水	20:58	34L	ANA640	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	-	
11	R7.5.8	木	18:31	22	AFR274	B77W	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	-	
12	R7.5.10	土	21:02	22	ANA286	A20N	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	●	
13	R7.5.15	木	9:59	34L	ANA18	B788	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	-	
14	R7.5.15	木	13:32	22	JAL904	A359	他の航空機との間隔設定のため	-	
15	R7.5.16	金	22:21	22	XAX522	A333	他の航空機との間隔設定のため	●	
16	R7.5.17	土	20:15	22	JAL26	B789	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	-	
17	R7.5.18	日	10:51	22	JAL432	B738	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
18	R7.5.18	日	10:53	22	ANA654	A21N	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	●	
19	R7.5.18	日	10:54	22	JAL306	A359	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	-	
20	R7.5.18	日	10:55	22	ANA584	B788	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	-	
21	R7.5.18	日	10:56	22	-	GLF6	部品紛失報告による滑走路閉鎖のため	-	
22	R7.5.18	日	18:56	22	ANA658	A21N	着陸準備が整わなかったため	●	
23	R7.5.21	水	12:16	22	ANA994	B78X	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
24	R7.5.21	水	22:13	22	CAL222	A333	高マスト船通過のため	-	
25	R7.5.21	水	22:16	22	AAR1065	A333	高マスト船通過のため	-	

	日 付	曜日	時 刻	滑走路	便 名	機 材	理 由	大田区上空通過	備考
26	R7.5.21	水	22:18	22	SNJ80	B738	高マスト船通過のため	—	
27	R7.5.27	火	14:26	34L	JAL646	B763	トーイング機等の滑走路離脱遅れのため	—	
28	R7.5.27	火	22:11	34L	UAE312	B77W	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
29	R7.5.30	金	9:02	34L	ANA16	B763	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
30	R7.5.30	金	10:57	34L	EVA192	B78X	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
31	R7.5.30	金	11:10	34L	ANA1076	B763	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
32	R7.5.30	金	22:00	34L	JAL638	B738	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	
33	R7.5.30	金	22:40	34L	JAL616	B763	気象の乱れにより進入が安定しなかったため	●	
34	R7.5.31	土	9:30	34L	ANA862	B788	他の航空機との間隔設定のため	—	
35	R7.5.31	土	9:49	34L	DLH716	B748	先行到着機の滑走路離脱遅れのため	—	

南風運用（15 時～19 時）に関わる騒音測定状況等について（令和 7 年 3 月）

羽田空港対策特別委員会 令和 7 年 6 月 26 日
まちづくり推進部 資料 6 番
所管 空港まちづくり課

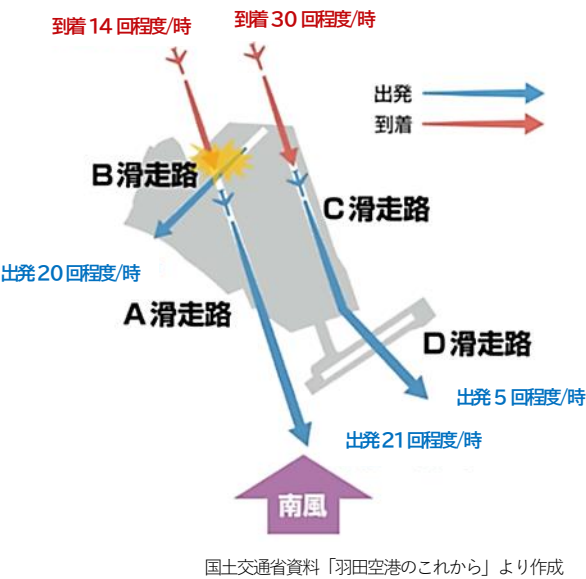
1 測定地点別騒音状況 月別一覧

- 大森第五小学校（大森本町 1-10-5） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	69.8	68.6	74.3									
最小値	57.7	56.0	57.2									
平均値	62.7	62.5	62.6									

- 羽田小学校（羽田 3-3-14） [単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	82.9	83.4	84.6									
最小値	63.8	61.7	62.4									
平均値	73.8	74.0	74.2									



2 滑走路別離発着回数 月別一覧

[単位：回]

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
滑走路	A 着陸	216	341	447										1,004
	B 離陸	291	469	607										1,367
	C 着陸	422	677	896										1,995

※ 新飛行経路による運用は、令和 2 年 4 月 3 日より開始

参考

南風運用（15 時～19 時）に関わる騒音測定状況等について（令和 6 年 1 月～12 月）

1 測定地点別騒音状況 月別一覧

● 大森第五小学校（大森本町 1-10-5）

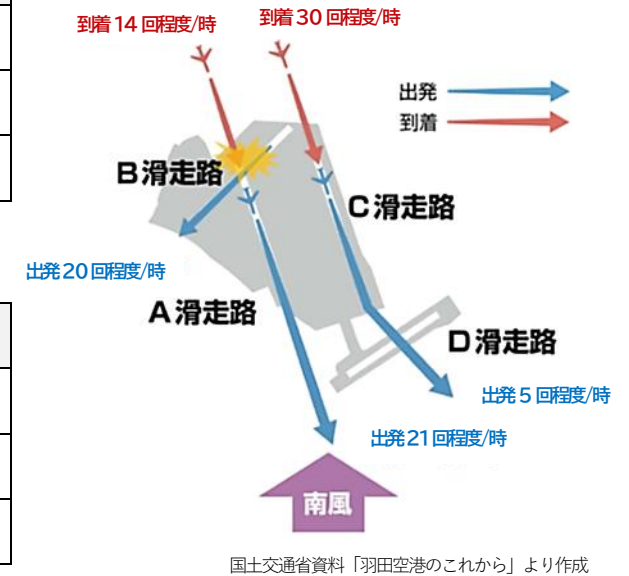
[単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	67.4	68.4	69.3	68.5	69.0	67.3	68.4	68.9	67.5	69.7	67.3	66.6
最小値	59.6	58.9	58.6	58.7	57.9	58.0	58.6	59.6	57.8	59.0	59.3	58.0
平均値	63.0	63.1	63.1	62.6	62.5	62.0	62.4	63.3	62.0	62.7	62.8	62.2

● 羽田小学校（羽田 3-3-14）

[単位：dB]

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大値	82.9	83.3	83.5	85.5	82.8	84.4	84.3	86.0	84.2	84.6	82.3	83.9
最小値	64.4	60.2	64.0	60.5	60.5	61.2	57.9	59.1	61.8	63.6	63.5	59.6
平均値	73.5	74.5	74.3	74.6	74.2	74.0	73.1	73.9	73.6	74.2	74.1	74.3



2 滑走路別離発着回数 月別一覧

[単位：回]

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
滑走路	A 着陸	75	211	367	425	858	833	1,134	866	715	252	122	241	6,099
	B 離陸	98	308	528	598	1,210	1,159	1,523	1,154	950	344	168	334	8,374
	C 着陸	161	465	793	862	1,797	1,726	2,215	1,735	1,389	538	272	521	12,474

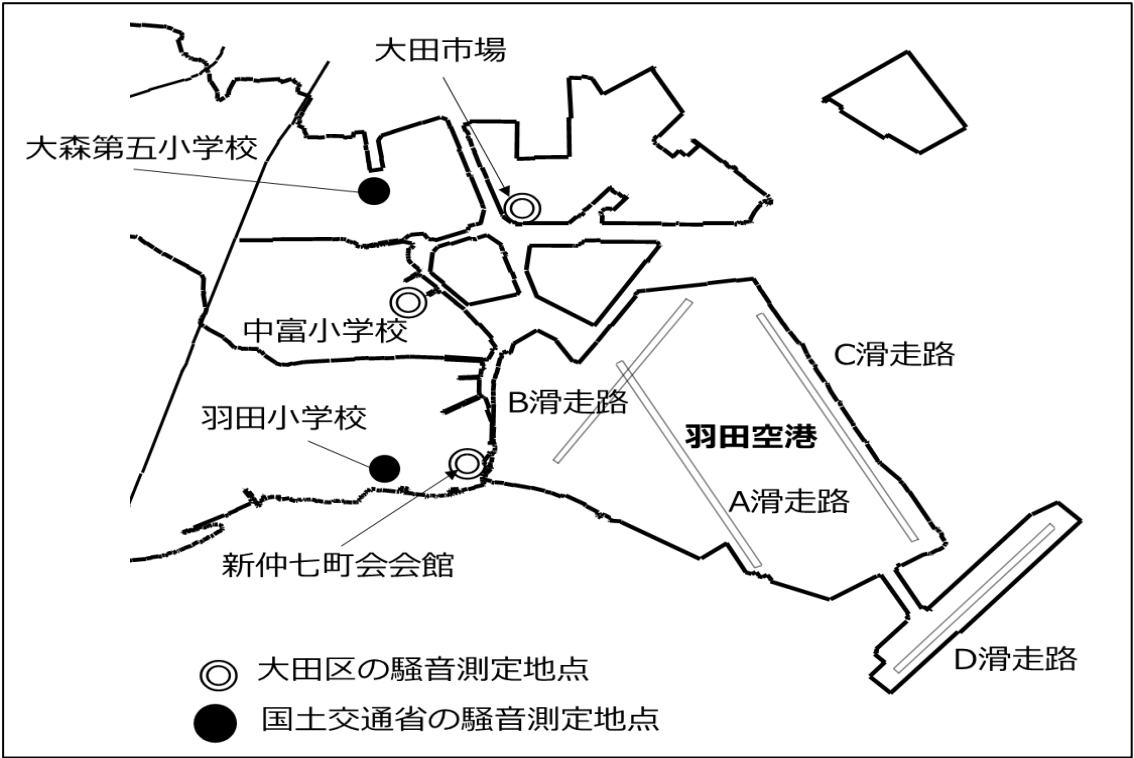
※ 新飛行経路による運用は、令和 2 年 4 月 3 日より開始

令和7年1月 大田区航空機騒音固定調査月報(確定)

測定地点	L _{den}		騒音レベル		測定回数					測定 日数
	測定値 (dB)	環境 基準値 (dB)	最大値 (dB)	最小値 (dB)	0時 ～ 7時	7時 ～ 19時	19時 ～ 22時	22時 ～ 0時	合計	
大田市場	56	62以下	85.7	60.2	266	2,935	675	308	4,184	31
中富小学校	48	57以下	81.7	49.6	294	2,357	760	326	3,737	31
新仲七町会会館	51	57以下	86.0	53.9	213	2,034	458	135	2,840	31

※ 測定期間：令和7年1月1日～1月31日
 ※ 「航空機騒音測定・評価マニュアル」(令和2年3月 環境省)に準じて行った。
 ※ 騒音レベルは測定した航空機騒音の最大値及び最小値である。(ヘリコプターを除く)

航空機騒音測定地点の位置図



※環境基準Ldenについて
 環境基本法 16 条では、「騒音に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、及び生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準を定めるものとする」(一部抜粋)と規定しています。
 これを基に、地域の類型に合わせ、次の基準値を定めています。
 類型Ⅰ 住居専用地域等 57dB 以下
 類型Ⅱ 上記以外 62dB 以下

航空機内陸飛行騒音調査について

1 調査概要

大田区の内陸部を飛行する航空機の騒音、騒音発生回数、運行状況、飛行高度を把握する為、一週間の短期測定により内陸飛行騒音調査を行った。

2 調査場所

矢口小学校
(多摩川一丁目 18 番 22 号)

3 調査期間

令和 6 年 11 月 8 日～11 月 14 日
(北風運用時)



4 調査結果

(1) 内陸飛行を行った航空機の騒音

(暗騒音+10dB (A) 以上の測定地点を通過した航空機を対象)

測定地点	L_{den} [dB]	WECPNL	最大値 [dB]	最小値 [dB]	測定回数				測定 総数	測定 日数
					0～7 時[回]	7～19 時[回]	19～22 時[回]	22～0 時[回]		
矢口小学校	30.8	40.1	61.9	54.0	2	16	6	0	24	7

(2) 経年変化

調査期間中に内陸飛行を行った 3 日間のデータを集計し、過去 10 年分の L_{den} を比較した。航空標識 KAMAT 近傍における L_{den} に、大きな変化は認められなかった。

(3) 内陸飛行における航空機の高度分布

例年と同様、調査期間内に内陸飛行を行ったすべての航空機が、航空標識 KAMAT 近傍において 9,000 フィート (約 2,750m) 以上で飛行していた。

令和 6 年度羽田空港航空機内陸飛行騒音調査委託
報告書

令和 7 年 3 月

大田区環境清掃部環境対策課

目 次

項 目	ページ
第 1 調査目的	1
第 2 調査概要	1
1 調査期間	1
2 調査地点	1
3 調査項目	3
第 3 航空機騒音の測定方法	4
1 測定機器	4
2 測定方法	4
第 4 調査結果	5
1 大田区に内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果	5
2 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合	6
3 調査期間中の天候	6
4 経年変化	7
5 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度分布	8
6 まとめ	10

第1 調査目的

平成20年9月に横田空域の一部が返還された。これに伴い、北風運用時において西方面に向かう航空機の一部が、区内上空に位置する航空標識の「KAMAT」を経由し、多摩川沿いの府中市方面「SEKID」（現「LAYER」）に向かう航路が内陸飛行として開始された。

本調査は、羽田空港から離陸する航空機のうち、D滑走路供用開始後において大田区内陸部に進入する航空機の騒音影響、機種情報、飛行高度及び飛行回数等を把握することを目的としている。

第2 調査概要

1 調査期間

令和6年11月8日から11月14日まで

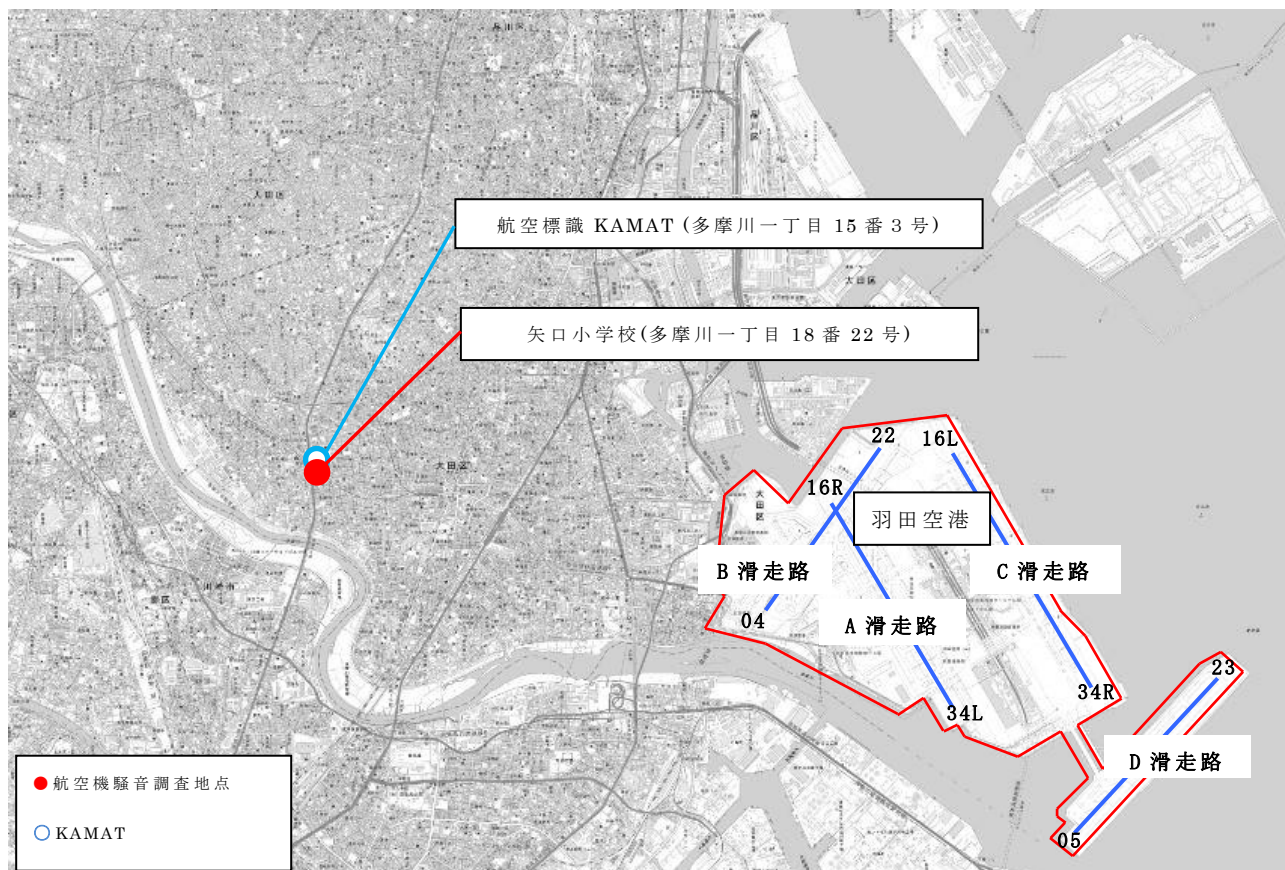
2 調査地点

(1) 航空機騒音調査地点

航空機騒音調査地点を表2-2.1、図2-2.1に示す。

表2-2.1 航空機騒音調査地点

測定地点	住 所
矢口小学校	多摩川一丁目18番22号



国土地理院の電子地形図 25000 に「調査地点」を追記して掲載

図 2-2.1 調査地点

3 調査項目

航空機騒音調査

羽田空港を 05 離陸または 16R 離陸後、主にウェイポイント「KAMAT」から「LAYER」を西方向に通過する経路で、一般財団法人航空保安研究センターより入手したレーダー航跡（以下「ATSRI 航跡」という。）において大田区区域内を飛行（以下「内陸飛行」という）する航空機の騒音を矢口小学校の 1 ヶ所で測定した。

また、最大騒音レベル及び単発騒音暴露レベル L_{AE} の記録をもとに、測定日ごとの下記の事項を算出すると共に全測定期間（7 日間）のデータについても算出した。

- ア 暗騒音に対し 10dB(A) 以上の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、データの中の最大値と最小値及び測定データ数
- イ 暗騒音に対し 4 dB(A) 以上の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、データの中の最大値と最小値及び測定データ数
- ウ 上記アについての評価量として、 L_{den} 及び WECPNL

第3 航空機騒音の測定方法

航空機騒音の測定方法は、原則として「航空機騒音監視測定マニュアル」（昭和63年7月環境庁大気保全局）または「航空機騒音測定・評価マニュアル」（令和2年3月環境省）に準じて行った。

ただし暗騒音から10dB(A)以上とならない騒音であっても人が耳で識別できる航空機騒音については測定対象とした。

1 測定機器

測定に使用した機器は、表3-1.1のとおりである。

表3-1.1 測定使用機器

機器名	型式	機能	メーカー
精密騒音計	LA-4440	騒音レベルの測定	(株)小野測器
音響校正器	SC-2500	騒音計のレベルを確認する 基準音源	(株)小野測器
全天候防風スクリーン	LA-0207	マイクロホンを風雨の影響 から軽減する	(株)小野測器
航空機接近検知識別装置	RD-90	航空機が発する航空機識別 番号・高度情報の取得	日本音響 エンジニアリング(株)
航空機最接近検知識別装置	RD-100	航空機が発する電波により 最接近時刻の取得	日本音響 エンジニアリング(株)
航空機騒音自動測定装置	DL-100	データの記録装置	日本音響 エンジニアリング(株)

2 測定方法

各調査地点に航空機騒音の識別機能を有する自動測定装置を設置し、航空機通過時の最大騒音レベルとその発生時刻、騒音継続時間、直前の暗騒音レベル、1秒ごとの等価騒音レベル（1秒間 L_{Aeq} ）、単発騒音暴露レベル（ L_{AE} ）を記録した。航空機の識別は、航空機騒音と同時に記録される航空機のトランスポンダ応答信号を用いた。暗騒音は最大騒音レベルが観測される直前300秒間の時間率騒音レベル L_{A90} とした。

また、収録されたデータが航空機騒音かどうかを後日確認出来るように、実音も併せて記録した。

第4 調査結果

1 大田区に内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果

測定地点の7日間の L_{den} を算出した結果を表4-1.1に示す。表には、 L_{den} 、WECPNL、最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、全データ中の最大値及び最小値、時間帯別の測定回数を記載している。

なお L_{den} 及びWECPNLについては、測定日別に算出した値をパワー平均した結果である。

また測定地点別に人が耳で識別できる航空機騒音の数に着目し、自動測定の閾値（暗騒音+4 dB(A)）を超えた航空機騒音の最大騒音レベルのパワー平均値、標準偏差、全データ中の最大値及び最小値、時間帯別の測定回数を表4-1.2に示す。

表 4-1.1 航空機騒音調査結果
(暗騒音+10dB(A)以上の測定地点を通過した航空機を対象)

測定地点	L_{den} [dB]	WECPNL	パワー平均 [dB(A)]	標準偏差 [dB(A)]	最大値 [dB(A)]	最小値 [dB(A)]	測定回数				測定 回数	測定 日数
							0～7時 [回]	7～19時 [回]	19～22時 [回]	22～24時 [回]		
矢口小学校	30.8	40.1	58.2	2.12	61.9	54.0	2	16	6	0	24	7

表 4-1.2 航空機騒音調査結果
(人が耳で識別できる航空機騒音の数に着目し分析)

測定地点	パワー平均 [dB(A)]	標準偏差 [dB(A)]	最大値 [dB(A)]	最小値 [dB(A)]	測定回数				測定 回数	測定 日数
					0～7時 [回]	7～19時 [回]	19～22時 [回]	22～24時 [回]		
矢口小学校	57.1	2.34	61.9	50.6	2	41	10	0	53	7

- ※ パワー平均：最大騒音レベルのパワー平均値[dB(A)]
最大値、最小値：最大騒音レベルの全データの最大値、最小値[dB(A)]
- ※ 05 離陸及び 16R 離陸し、大田区区域内を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）の通過音を対象とした。（表 4-1.1 は暗騒音に対し 10dB(A) 以上、表 4-1.2 は暗騒音に対し 4dB(A) 以上のデータについて分析を行った。）
- ※ 航空機騒音監視測定マニュアル(昭和 63 年 7 月 環境庁大気保全局)では、「ピークレベルが暗騒音レベルより 10dB 以上大きいかどうかチェックする。」とあり、表 4-1.2 では暗騒音より 10dB(A) 未満のデータも含まれるため WECPNL は算出しなかった。また航空機騒音測定・評価マニュアル(令和 2 年 3 月 環境省)では、「騒音レベルの最大値が暗騒音より 10 デシベル以上大きい航空機騒音について」とあり、暗騒音より 10dB(A) 未満のデータも含まれるため、単発騒音暴露レベル L_{AE} は算出しなかった。

2 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合

令和6年度に大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数と割合を表4-2.1、図4-2.1に示す。

大田区の上空を通過する航空機は、05(D滑走路北側離陸)の運用が多く占めている。

表4-2.1 大田区に内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数と割合

滑走路	測定日 [機]							合計 [機]
	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	
05	16	6	17	12	16	9	22	98
16R	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	6	17	12	16	9	22	98

滑走路	測定日 [%]							合計 [%]
	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	
05	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
16R	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※ 16R:A 滑走路南側離陸 05:D 滑走路北側離陸

※機数については令和6年度より、05 離陸および 16R 離陸し大田区区域内を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）について集計を行っている。

3 調査期間中の天候

調査期間中の天候を表 4-3-1 に示す。

表 4-3-1 調査期間中の天候

11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日
晴一時曇	晴後時々曇	曇	曇時々晴	晴時々曇	曇一時晴	曇一時晴
北北東	北東	北北西	北	北北東	東北東	西北西

※上記天気・風向の測定場所：千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館(屋上)

測定機関：国土交通省 気象庁 東京管区气象台

※天気については 6～18 時の概況、風向については最多風向を表示。

4 経年変化

大田区の内陸側への飛行は主に北風運用の場合が多い。そこで北風運用に限った場合の L_{den} が大きい 3 日間の平均を算出した。表 4-4.1、図 4-4.1 に結果を示す。

表 4-4.1 北風運用に限った場合の
航空機騒音調査結果の経年比較 (L_{den} [dB])

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和01年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
矢口小学校	41.3	40.1	41.9	44.4	42.0	33.7	34.3	34.2	32.7	34.0

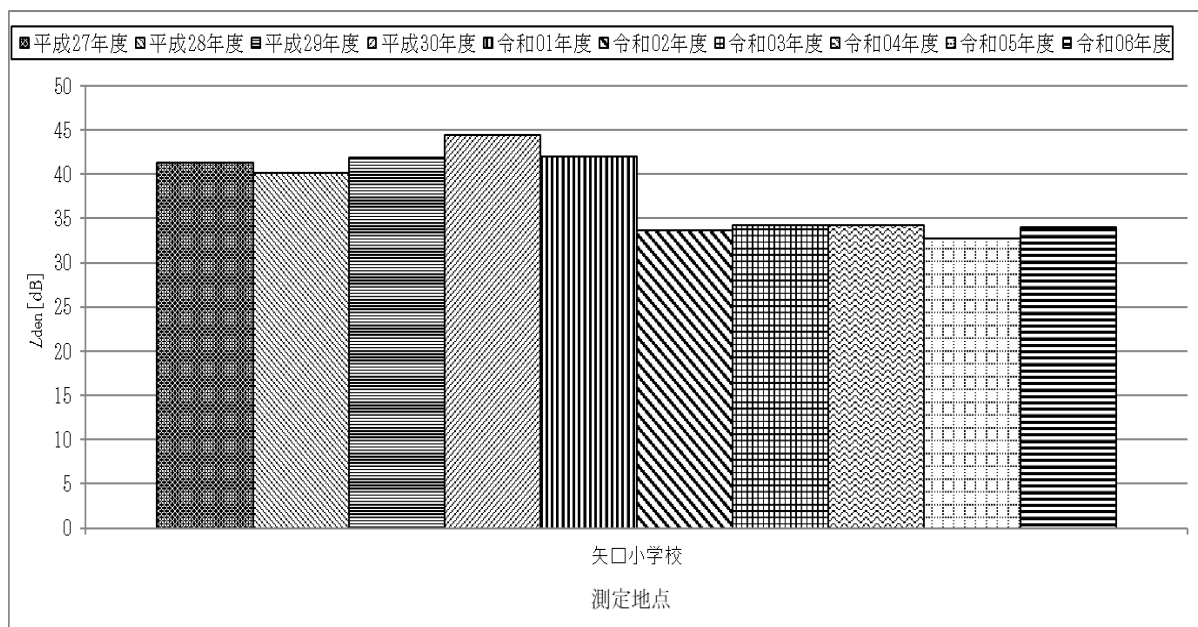


図 4-4.1 北風運用に限った場合の
航空機騒音調査結果の経年比較 (L_{den} [dB])

※令和 5 年度は、矢口小学校近傍にて解体工事が行われていた為、矢口東小学校で測定を実施。

5 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度分布

(1) 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の分布（機数）

内陸飛行を行った航空機の各測定点における高度の度数分布（機数）を表 4-5.1 に示す。

表 4-5.1 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の度数分布（単位：機）

データ 区間[m]	矢口小学校									
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
1500 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1750 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2000 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2250 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2500 ≦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2750 ≦	19	12	8	3	2	2	0	1	0	6
3000 ≦	97	63	43	53	47	16	12	10	10	18
3250 ≦	109	144	85	134	101	36	26	16	18	27
3500 ≦	54	88	130	156	162	32	42	52	15	20
3750 ≦	25	48	65	58	79	22	20	21	13	7
4000 ≦	13	27	35	29	36	8	18	25	4	9
4250 ≦	7	15	9	17	20	3	7	12	4	8
4500 ≦	4	4	12	9	18	4	7	15	1	0
4750 ≦	4	2	7	1	7	2	4	4	0	0
5000 ≦	0	2	0	2	3	0	2	1	1	3
5250 ≦	1	0	0	0	5	0	0	2	0	0
5500 ≦	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

機

※ 表中のハッチングをした部分は、矢口小学校（航空標識 KAMAT 近傍）以降で

9000 フィート（約 2750m）未満を示す。

※05 離陸および 16R 離陸し、大田区区域を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）

が KMAT に最接近したときの ATSRI 航跡の気圧補正済高度を集計。

※2750m の項目には、2750m 以上 3000m 未満の頻度を集計

※機数については令和 6 年度より、05 離陸および 16R 離陸し大田区区域内を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）について集計を行っている。

※令和 5 年度までは、05 離陸および 16R 離陸し行先が RJFF, RJFU, RJOA, RJFO,

RJFR, RJOI, RJOM, RJOT のいずれかについて集計を行っている。

※令和 5 年度は、矢口小学校近傍で解体工事があった為、矢口東小学校で測定を実施

(2) 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の分布（割合）

各年度に内陸飛行を行った航空機の機数は異なる。そこで比較しやすくするために、各年度の飛行回数を各年度の全総機数で割った割合を度数分布で表したものを表 4-5.2 に示す。

表 4-5.2 大田区に内陸飛行を行った航空機の高度の度数分布（単位：％）

データ 区間[m]	矢口小学校									
	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
1500 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
1750 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2000 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2250 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2500 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
2750 ≦	6%	3%	2%	1%	0%	2%	0%	1%	0%	6%
3000 ≦	29%	16%	11%	11%	10%	13%	9%	6%	15%	18%
3250 ≦	33%	36%	22%	29%	21%	29%	19%	10%	27%	28%
3500 ≦	16%	22%	33%	34%	34%	25%	30%	33%	23%	20%
3750 ≦	8%	12%	16%	13%	16%	17%	14%	13%	20%	7%
4000 ≦	4%	7%	9%	6%	8%	6%	13%	16%	6%	9%
4250 ≦	2%	4%	2%	4%	4%	2%	5%	8%	6%	8%
4500 ≦	1%	1%	3%	2%	4%	3%	5%	9%	2%	0%
4750 ≦	1%	0%	2%	0%	1%	2%	3%	3%	0%	0%
5000 ≦	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	1%	2%	3%
5250 ≦	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%
5500 ≦	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%

％

※ 表中のハッチングをした部分は、矢口小学校（航空標識 KAMAT 近傍）以降で 9000 フィート（約 2750m）未満を示す。

※05 離陸および 16R 離陸し、大田区区域を飛行した航空機（ATSRI 航跡を GIS にて判定）が KMAT に最接近したときの ATSRI 航跡の気圧補正済高度を集計。

2750m の項目には、2750m 以上 3000m 未満の頻度を集計

※ 令和 5 年度は、矢口小学校近傍で解体工事があった為、矢口東小学校で測定を実施

6 まとめ

(1) 内陸飛行を行った航空機の騒音調査結果について

令和 6 年度の矢口小学校の L_{den} 値は 30.8dB であった。

7 日間の調査結果では、日別 L_{den} が 19.1~36.2dB、暗騒音から 10dB(A) 以上の測定回数は 24 回、人が耳で感じられた数(暗騒音から 4 dB(A) 以上) は 53 回であった。

(2) 内陸飛行を行った使用滑走路毎の航空機の機数及び割合について

調査を開始した平成 22 年度(D 滑走路供用開始後)から令和 2 年度までは、D 滑走路北側離陸 (05T) の運用で統一されていた。

令和 3 年度の調査においては南風運用である A 滑走路南側離陸 (16RT) での内陸飛行が観測されたが、令和 6 年度については D 滑走路北側離陸 (05T) の運用であった。

また、内陸飛行で観測された航空機においては、福岡・広島行きが観測された。

(3) 経年変化について

内陸飛行を行った 3 日間のデータを集計し、 L_{den} 値を算出した。

L_{den} 値は令和 6 年度は 34.0dB であった。令和 5 年度の 32.7dB に対して 1.3dB 上回る結果となった。

(4) 内陸飛行における航空機の高度分布について

矢口小学校(航空標識 KAMAT 近傍)については、例年と同様に令和 6 年度の内陸飛行騒音調査においても、9,000 フィート(約 2,750m) 以上で飛行していた。

羽田イノベーションシティにおける取組報告について

1 今後の主な予定等

(1) HICity 全体

ア 夏祭キャンペーン（羽田みらい開発株式会社主催、大田区後援）

- ・ 日程：令和7年7月19日（土）～8月31日（日）
- ・ 内容：盆踊りや台湾マルシェ、ワークショップなどのコンテンツを実施。7月19日（土）～21日（月）は盆踊りを開催。

イ 羽田空港周辺地域見学ツアー（羽田みらい開発株式会社主催、大田区後援）

- ・ 日程：令和7年8月～10月の10日間程度
- ・ 内容：HICityの特徴である「先端」と「文化」に触れる体験や、航空会社と連携したコンテンツ、制限区域内見学バスツアー等を実施。
- ・ 対象：区立小中学校児童・生徒及びその保護者 600名程度

ウ （仮称）羽田イノベーションシティ秋イベント（羽田みらい開発株式会社主催、大田区後援（予定））

- ・ 日程：令和7年10月31日（金）～11月2日（日）
- ・ 内容：「先端」と「文化」をテーマにしたコンテンツを実施予定。OTA ふれあいフェスタと同時期となるため、これに留意した内容を検討中。

(2) 区施策活用スペース「HANEDA×PiO」

ア PiO PARK の催し

（ア）HANEDA 共創プラットフォーム（事務局 大田区産業振興協会）

「第16回グローバルビジネス勉強会」

- ・ 日時：令和7年7月15日（火）15:00～16:30
- ・ 内容：海外ビジネスのトレンドや国内外企業の国際戦略および事例を学び、区内企業の国際化に向けた知見、自信、ネットワークを深める目的の会員制勉強会を実施。今回は、「海外高度人材の可能性」をテーマとし、区内企業の事例紹介を軸に理解を深める。
- ・ 対象：会員（区内中小製造業など）

(イ) 第10回超専門技術ミニ展示会（大田区産業振興協会主催）

「大きいモノ、数モノ展」

- ・ 日時：令和7年7月17日（木）13：00～16：00
- ・ 内容：微細加工や少量多品種で名高い大田区産業のイメージとは一線を画す「大物部品の加工」や「量産技術」をテーマとした専門展示会。
- ・ 対象：区内製造業、テーマに関心のある企業

2 直近に実施した主な催し等

(1) HICity 全体

ア 初夏フェス

- ・ 日程：令和7年5月1日（木）～5月31日（土）
- ・ 内容：盆踊りエンターテインメントやこどもが楽しめるコンテンツ等を実施。



NO BORDER BONODORI



モルック体験会



デジタル射的



電動キッズバイク体験

(2) 区施策活用スペース

ア HANEDA 共創プラットフォーム（事務局 大田区産業振興協会）

「第15回自社商品のつくりかた勉強会」

- ・ 日時：令和7年5月21日（水）15：00～16：30

- ・ 内容：町工場プロダクツ代表の栗原氏を講師にお招きし、受託製造を主としていた企業が、いかにして自社製品を開発・展開するに至ったのかについてご講演いただいた。また、自社製品を流通させる上での販路やネットワークの重要性や、小規模な製品しかない中でどのようにして展示会出展を実現したのかなど実践的な知見をご教示いただいた。
- ・ 参加者：15 名（うち区内企業 12 名）



「自社商品のつくりかた勉強会」の様子

イ HANEDA 共創プラットフォーム（事務局 大田区産業振興協会）

「第 15 回グローバルビジネス勉強会」

- ・ 日時：令和 7 年 5 月 22 日（木）15：00～16：30
- ・ 内容：PiO PARK と相互利用連携を結ぶウィーンエアポートシティの空港都市開発責任者 Peter de Leeuw 氏を講師に招き、同施設の取組並びにオーストリアをはじめとするヨーロッパのイノベーション・プロセスについて講演いただいた。グループ討議では、欧州市場へ参入したい区内企業の支援方法やネットワークの活かし方など、実践に繋がる議論が行われた。
- ・ 参加者：16 名（うち区内企業 16 名）



「グローバルビジネス勉強会」の様子

ウ ドイツ家族経営企業ミッション（大田区産業振興協会共催）

- ・ 日時：令和 7 年 5 月 23 日（金）13：30～16：30
- ・ 内容：在日ドイツ商工会議所との連携企画で、ドイツ家族経営企業の経営者が HICity へ来訪し、大田区内企業とのディスカッション及び交流イベントを実施した。ドイツ側からは 9 社 12 名、大田区側からは 7 社 9 名がディスカッションに参加し、環境保護や人材難、事業承継等幅広いテーマにつき意見交換が行われた。
- ・ 参加者：35 名（うち区内企業 9 名）



ディスカッションの様子